



▲「拳心会」椎葉道場のみなさん

硬式空手道「拳心会」が大活躍！

11月21日、鹿児島県で開催された硬式空手道西日本選手権大会で、椎葉の選手が大活躍しました。同大会には西日本の各道場から580人が参加。本村の「拳心会」椎葉道場（尾向地区、尾前孝文館長）の選手6人も出場しました。大会では、小学1年女子組手の部で尾前明菜さん（水無）、小学2年女子形の部で尾前夏美さん（水無）がそれぞれ優勝。また、一般有級者重量級男子の部で尾前慎二さん（水無）が準優勝しました。同道場は、尾向小体育館で毎週火金曜日に練習を行っていますが、地域活性化と今後の選手の活躍が期待されています。



▲勢いよくスタートする小学校低学年男子の児童

第14回「とびがち大会」開催

11月23日、上椎葉バイパスで第14回「とびがち大会」が行われました。この大会は、椎葉村青年団連絡協議会（椎葉基晴会長 会員54人）が主催したもので、自然豊かな椎葉路を走りながら健康増進と交流を図ろうというものです。

大会には、村内の小中学生や青年会員など約70人が参加。応援に駆けつけた家族や地域の方々の声援を受けながら、参加者全員が一生懸命走り抜きました。



▲体育館に響き渡った感動の生演奏

合同音楽鑑賞会

11月25日、松尾小体育館で合同（松尾小中、児童館）の音楽鑑賞会が行われました。この鑑賞会は、生演奏を聴く機会が少ない子どもたちのためにと演奏者の方々の好意と熱意によるボランティアで実現しました。

県内外で活躍する演奏者のトランペットやバイオリン、ピアノなどの演奏に、子どもたちは目を輝かせて聴いていました。また、曲目も親しみやすいクラシックからテレビアニメの主題歌、椎葉の民謡など幅広く、子どもたちや先生方も大変感動していました。



▲地域の方々の指導のもとソバ打ちを体験

焼畑収穫祭

11月26日、尾向小で焼畑収穫祭が行われました。焼畑農法の体験学習で8月にソバの種を蒔いたものがこの秋に立派な実をつけ、全校児童で収穫する喜びを味わいました。

収穫祭では保護者や地域の方の指導のもと、石臼で実をひいてソバ粉を練るなどソバ打ちも体験。その後、参加者全員で試食し、椎葉ならではの秋の味覚を楽しみました。また、同日に焼畑に関する学習発表会や地元の方から焼畑についての講話を聞くなどして、同地区で継承され続ける伝統農法の大切さも学びました。

